

庁議 案件申込書

申込日 平成22 年 2 月 9 日

案件名	「相模原71万市民のごみ減量作戦」について													
所管	環境経済	局	資源循環	部	廃棄物政策	課	担当者					内線		
概要	地球温暖化対策や資源循環型社会の形成に向けた取組を進めるため、相模原71万市民のごみ減量作戦として「さがみはらごみDE71大作戦」を展開し、ごみの減量化・資源化を積極的に推進する。													
審議内容(論点)	○「相模原ごみDE71大作戦」の内容													
審議希望日	関係課長会議	平成22	年	2	月	9	日	政策調整会議		年		月		日
	局経営会議	平成22	年	2	月	16	日	政策会議		年		月		日
日程等調整事項	条例等の調整	なし		議会上程時期										
	パブリックコメント	実施なし		時期		議会への情報提供								
検討経過等	関係部局との調整	関係部局名等				調整項目				調整状況				
	打合せ・会議の経過													
		月日	会議名等				内容							
	H21.11.25	関係課長会議				「相模原ごみde71大作戦」の実施について								
	H22.2.9	関係課長会議				「相模原71万市民のごみ減量作戦」について								
備考														

会議開催日程等 (局経営会議、関係課長会議用)

区分	局経営会議															
開催日時	平成22	年	2	月	16	日	(火)	午前	9時	00分						
会場	第1特別会議室															
出席課・機関等	<input type="checkbox"/>	小星副市長			<input type="checkbox"/>	環境経済局長			<input type="checkbox"/>	経済部長			<input type="checkbox"/>	環境保全部長		
	<input type="checkbox"/>	資源循環部長			<input type="checkbox"/>	産業振興課長			<input type="checkbox"/>	環境対策課長			<input type="checkbox"/>	廃棄物政策課長		
	<input type="checkbox"/>	環境経済総務室長			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>			

裏面に事案の具体的内容を記載してください。

事案の
具体的な内容

(1) 事案概要

1. 背景

○ 従来の大量生産・大量廃棄型の社会経済活動により、天然資源の枯渇化や地球温暖化問題など、地球規模での環境問題の深刻化に直面。

○ 社会経済活動の全段階を通じて、環境への負荷を低減する資源循環型社会への転換が必要。

○ 本市の1人1日あたりの家庭ごみ排出量(572g)は、政令市平均(550g)より多いこと、また、藤沢市(468g)や八王子市(485g)など近隣市で有料化を行っている都市との比較でも100g程度多いことから、家庭ごみの減量化・資源化の取組をより一層進めることが必要。

2. 新たな事業展開

地球温暖化や資源循環型社会の形成に向けた取組を進めるため、「相模原ごみDE71大作戦」を行い、ごみの減量化・資源化を積極的に推進。

3. 家庭ごみの減量作戦

1人1日あたりの家庭ごみ排出量を500g以下とする「一般廃棄物処理計画」の数値目標を達成するため、次のキャッチフレーズを掲げる。

「～地球環境を守るレモン1個分のスリム～」

4. 効果

CO₂排出削減量 約10,300トン(森林(スギ)約74万本、約1,300haに相当)

最終処分場の延命 4～6年程度

年間2～3億円程度の経費削減

5. 事業展開

(1) 全市版キャンペーン事業

ア広報: 街頭PR、ごみ集積所掲示用看板の設置 等

(2) 事業スケジュール

(3) 事業経費等